

認定こども園・幼稚園・保育園の事業者必見!

人口
わずか

4.4万人 の地域で成功する 児童発達支援・ 放課後等デイサービス

特別
ゲスト
講師

学校法人登別立正学園
理事長 木村 義恭 氏



一般社団法人 全国認定こども園
連絡協議会顧問



一般社団法人 全国企業主導型
保育事業連合会 代表理事



ゲスト講師が実現した **3つの事例**

- 01 **2年**で在園児・卒園児約**30名**利用!
- 02 **開業半年**で新規利用問い合わせ**50件以上**!
- 03 **キャンセル待ち多数**!地域内で評判の施設に!

児童発達支援・放課後等デイサービス新規参入セミナー

お問い合わせ No.
S127545

主催



サステナブルグロースカンパニーをもっと。

Funai Soken

株式会社船井総合研究所

〒541-0041 大阪市中央区北浜 4-4-10 船井総研大阪本社ビル

当社ホームページからお申込みいただけます。

(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索窓に [No.S127545] を入力してください)

127545



園の未来に押し寄せる「少子化の波」

少子化の影響で、全国の幼稚園・保育園・こども園の経営環境は大きく変わろうとしています。

実際、総務省によると、2024年4月におけるこどもの数は、前年に比べ33万人少ない1401万人で、**1982年から43年連続の減少となり、過去最少**となっており、**少子化が加速していることが明らか**になっています。
この流れは都市部だけでなく、地方の幼稚園・保育園にも影響を及ぼしています。

図2 年齢3区分別人口の割合の推移

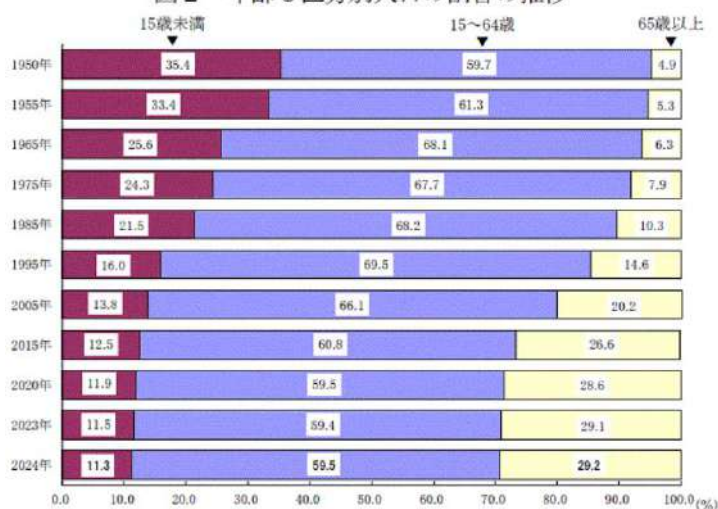
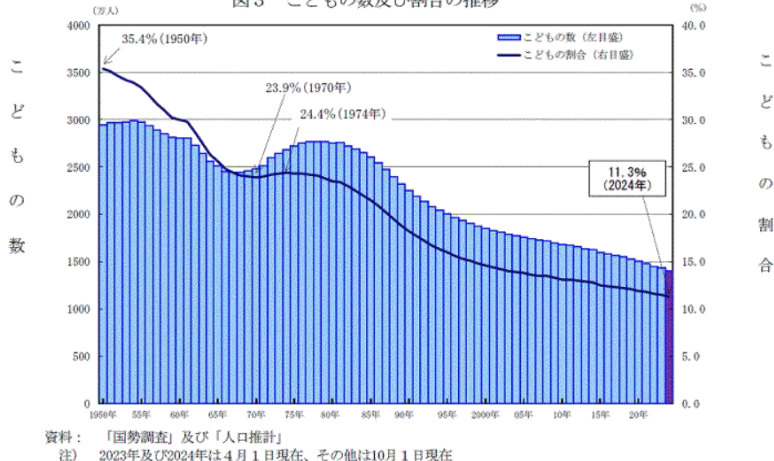


図3 こどもの数及び割合の推移



資料：「国勢調査」及び「人口推計」

注）2023年及び2024年は4月1日現在、その他は10月1日現在

出典：総務省「わが国のこどもの数」

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/topics/pdf/topics141.pdf>

「このままでは園児が減少し、地域の園が立ち行かなくなるのではないか？」
そんな危機感を持つ経営者も少なくありません。

少子化に伴い、国の政策として保育環境の充実が進められていますが、それでも**すべての子どもたちが十分な支援を受けられるとは限りません**。
特に発達に課題を抱える子どもたちにとっては、適切な支援が受けられる場の確保が重要です。

さらに、地域ごとの人口減少による影響も無視できません。
大都市圏では共働き世帯の増加により保育需要が高まる一方で、地方では子どもの数自体が減少し、園の経営そのものが難しくなるケースが増えています。
今回ご紹介する**とある地域**もまた、このような厳しい状況にさらされています。

北海道、登別市。

人口4.4万人の小さな町で 1つの事業が動き出す。

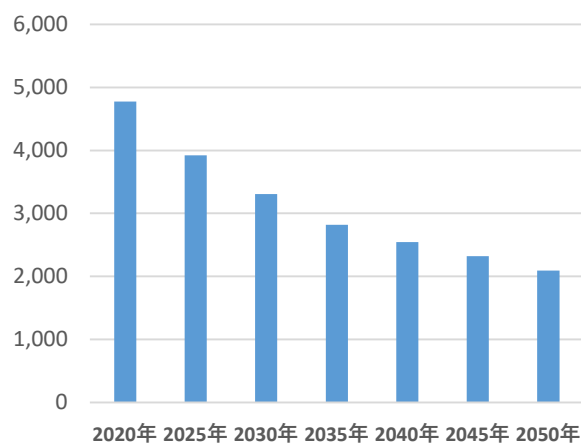
日本有数の温泉地として知られ、四季折々の美しい自然に囲まれた魅力的な街、北海道登別市。自然が豊かで子育てに適した地域だと言えます。

しかし、それとは裏腹に、登別市でもまた
深刻な人口減少と少子化が進行していました。

統計によると、登別市の年少人口(0～14歳)は2020年国勢調査で4,775人となっていますが、2050年時点では2,092人と**半数以下にまで減少**することが予測されています。

実際に、出生数においても2023年の調査では
登別市の出生数は166人（前年比14.0%減少）
と過去最少を記録しています。

登別市における年少人口(0～14歳)



※2020年は国勢調査、2025年以降は将来推計

出典：登別市

https://www.city.noboribetsu.lg.jp/docs/2013030400687/file_contents/03_jisedai.pdf

人口減少により、地域の保育・教育環境も厳しくなる中、幼稚園や保育園の経営は厳しさを増し、園児の減少による閉園を余儀なくされる施設も少なくありません。

また、若年層の流出により、高齢化が進行し、地域の活力が低下しています。そんな登別市において、「**地域の子どもたちを支え続ける**」ことを使命とし、**新たな取り組みを始めた法人**がいました。

学校法人 登別立正学園の挑戦



PURPOSE

存在理由

「すべての人に笑顔を届ける」

学校法人登別立正学園は、北海道登別市を拠点に、地域の子どもの成長を支える教育・保育施設を展開しています。1955年に開園した白菊幼稚園をはじめ、登別保育所 コロポックルの森や海の子保育園、幌別東保育所、ストロークハウスなど、多様なニーズに応える施設を運営し、地域の子育てを幅広く支えています。園児一人ひとりに寄り添い、豊かな感性と社会性を育む保育をおこなっているのが特徴です。



理事長 木村義恭 氏

登別立正学園を支える「6つの施設」



認定こども園白雪幼稚園・
登別保育所
コロポックルの森



認定こども園
白菊幼稚園



公私連携幼保連携型認定
こども園
海の子保育園



企業主導型保育事業
ストロークハウス



運動特化型
児童発達支援・放課後等デイサービス
ビューティフルステート登別



幌別東保育所

さらに、2023年7月には、発達に課題を持つ子どもたちを支援する「ビューティフルステート登別」を開設しました。ここでは、感覚統合療法を取り入れた運動療育を通じて、子どもたちが自信を持って自らの力を発揮できるようサポートしています。

しかし、その立ち上げは決して順風満帆ではありませんでした。登別立正学園もまた、皆様と同じように、事業の方向性や運営の課題に悩み、模索しながら一步を踏み出したのです。地域の子どもたちのために、どのような決断があったのか？その経緯を追ってみましょう。

新規事業参入への葛藤

「人が集まるのか」「投資回収は可能か」

そして、「いつから始めるべきなのか」

木村氏は、園の児童の中に発達に特性のある子どもが少なくないことを日々実感していました。

「この子たちが安心して過ごせる場をどうすればつくれるのか？」

そうした思いから、さまざまな選択肢を模索し、悩み抜いた末にたどり着いたのが、**児童発達支援・放課後等デイサービスの立ち上げ**でした。

しかし、いざ新しい事業を始めるとなると、さまざまな不安が押し寄せました。

特に大きな懸念は、福祉人材の確保でした。福祉事業には専門的な知識が必要であり、既存の保育とは異なるスキルや資格を持つ職員を採用しなければなりません。

ところが、木村氏は「本業である保育事業に従事する保育士が、**児童発達支援・放課後等デイサービスの職員として兼務できる可能性がある**」という強みがあることに気づきました。既存の保育士の中には、発達特性のある子どもへの対応に関心を持ち、さらに専門性を深めたいと考える職員が少なくなかったのです。

そうした**職員のスキルアップを支援し、福祉事業への移行を促す**ことで、スムーズに人材確保の課題を克服する道筋が見えてきました。

さらに、**既存の保育事業の人的資源を活かすことで、新たな投資を最小限に抑えることができる**と考えました。これまでに築いた地域との信頼関係や、保護者とのつながりも、児童発達支援・放課後等デイサービスの利用促進において強みとなるはずでした。

「始めるなら、いつが最適なのか？」

そのタイミングも悩みの種でした。社会情勢や地域の状況を考慮しながら、最も効果的なタイミングを見極めることに苦心しました。

それでも、「**今いる園児とその保護者を支える仕組みを作れば、地域にとっても必要な施設になるはずだ**」との思いが背中を押し、木村氏はついに新たな挑戦に踏み出したのです。

なぜ、学校法人登別立正学園は人口4.4万人の小都市で 2年で在園児・卒園児約30名が利用する人気施設を つくることに成功したのか？

北海道登別市で、児童発達支援・放課後等デイサービス事業への新規参入に成功した学校法人登別立正学園。年間出生数166人の地方都市で、一体どのようにして事業へ参入し、定員をはるかに超える利用者が殺到し、キャンセル待ち多数の大人気施設を作るに至ったのでしょうか？その詳細を探るべく、特別にインタビューを行いました。

インタビュー

株式会社船井総合研究所
子育て支援部 リーダー
藤光孝法



藤光： 本日は、児童発達支援・放課後等デイサービス事業の立ち上げに成功された学校法人登別立正学園の木村義恭氏をお迎えし、その成功の背景についてお話を伺います。木村先生、まずはこの事業を始めようと思ったきっかけを教えてくださいませんか？

木村氏： もともと、私たちの園には**発達に特性のある子どもたちが一定数在籍**していました。そうした子どもたちが十分なサポートを受けられない現状を目の当たりにし、「**この子たちにもっと適した環境をつくれませんか？**」と考えたのがきっかけです。

藤光： ただ、児童発達支援・放課後等デイサービス事業は、保育とは異なる専門性が求められるため、新規参入には不安もあったのではないのでしょうか？

木村： そうですね。最大の懸念は「**人材を確保できるのか？**」という点でした。福祉分野は専門職の人材が不足しており、地方では採用がさらに難しい。加えて、初期投資や運営の安定化についても不安がありました。

藤光： その課題に対し、具体的にどのような対策を講じましたか？

木村： まず、人材確保については「**お仕事説明会**」を開催しました。福祉分野に興味があるけれど経験のない方や、復職や転職を考えている保育士の方や、教員免許をお持ちの方に向けて、私たちのビジョンや事業の目的を伝える場を設けました。結果として、「子どもたちの成長をサポートしたい」という想いを持つ人材に出会うことができました。

藤光： なるほど。加えて、貴園では**既存の保育士の方々も児童発達支援の業務に関わる形**をとられたそうですね？

木村： そうです。一部、**保育士の先生方が園との兼務で児童発達支援・放課後等デイサービスに関わる**ことができるようにし、**職員の負担を分散**させました。園での経験を活かせることで、先生方もスムーズにこの事業に適応できました。

藤光： では、**子どもたちの集客**に関してはどのような施策を行いましたか？

木村： まず、自園の園児の保護者の皆さんに丁寧に説明し、既存の信頼関係を活かしました。次に、地域の支援機関や医療機関と連携し、適切な支援が必要なご家庭へ情報を届けました。さらに、差別化のポイントとして「運動療育」に特化し、子どもたちが楽しみながら成長できるプログラムを導入しました。結果的に、現在では**在園児・卒園児の方約30名に利用**いただいています。

藤光： その結果、**開業半年で定員10名を大幅に上回る利用児童が集まり**、キャンセル待ちが発生するほどになったのですね。

木村： はい。正直、ここまでの反響があるとは思っていませんでした。しかし、保護者の皆さんの「**この施設があって助かった**」という声を聞くと、やってよかったと心から思います。

藤光： これから新規参入を考えている園の経営者の皆さんへ、何かメッセージをいただけますか？

木村： **児童発達支援・放課後等デイサービスは、ただの事業拡張ではなく、地域の子どもたちやその家族にとって大きな支えになります。** 私たちも最初は不安がありましたが、藤光さんのコンサルティングを受けながら進めることで、無理なく成功につなげることができました。今、不安を感じている経営者の方も、一步踏み出せばきっと道が拓けると思います。

藤光： ありがとうございます。本セミナーでは、今回お話いただいた登別立正学園の成功事例をさらに詳しくご紹介し、具体的な開業プロセスについてもお伝えします。児童発達支援・放課後等デイサービスの導入を検討されている方は、ぜひご参加ください！

2年で在園児・卒園児約30名利用 キャンセル待ち多数の人気施設へ！

開業から2年、登別立正学園の児童発達支援・放課後等デイサービスの契約児童は**定員10名に対して44名**に達しています。
これは決して偶然の成功ではありません。

戦略的な職員採用の工夫と、地域のニーズを的確に捉えた集客戦略が功を奏した結果です。

開業当初は不安もありましたが、計画的に施策を実行し、一つひとつの課題をクリアしてきたことが、今の成果へとつながっています。

現在では、地域の保護者から「ここに通えて本当に良かった」と感謝の声が多く寄せられ、行政機関や他の保育施設からの見学希望も増加。**このモデルが他の地域でも再現可能であることが証明されています。**

「**うちの園でもできるかも？**」

そう思った方は、ぜひ本セミナーで詳細を学んでみてください！

**3時間のオンラインセミナーで、成功のポイントをすべて公開！
実際の開設プロセスや運営の工夫を解説！**

あなたの園も、地域の子どもたちの未来を支える場へ——
今こそ、新たな可能性を見つけるチャンスです！

児童発達支援・放課後デイサービス 新規参入セミナー

第1講座

保育事業者がいま参入すべき「障がい福祉業界」の動向

現在、保育事業の経営者が注目を始めている児童発達支援・放課後等デイサービス事業。その現状を解説いたします。

株式会社船井総合研究所 福祉・保育チーム リーダー 藤光 孝法



第2講座

児童発達支援・放課後等デイサービスの成功モデル事例

保育事業から児童発達支援・放課後等デイサービスへの新規参入を果たし、独自コンセプトの展開に成功している学校法人登別立正学園の成功事例をご紹介します！

学校法人登別立正学園 理事長 木村義恭氏



第3講座

児童発達支援・放課後等デイサービス事業成功のポイント

児童発達支援・放課後等デイサービスの集客・採用・店舗展開の成功ポイントをご紹介します！

株式会社船井総合研究所 福祉・保育チーム 納村 彩花



第4講座

本日のまとめ

今日のセミナーのまとめを解説。明日から取り組むべきことをお伝えいたします。

株式会社船井総合研究所 福祉・保育チーム リーダー 藤光 孝法



セミナー参加者特典！無料経営絵相談のご案内

セミナー終了後、質問や疑問点などに対して個別にお時間を設定させていただきます。今後の採用戦略や事業展開に向けた具体的な内容もその場でお答えさせていただきます！是非お申込みください。

開催日時

2025年5月15日(木) 13:00～16:00

2025年5月16日(金) 13:00～16:00

2025年5月21日(水) 13:00～16:00

2025年5月23日(金) 13:00～16:00

(ログイン開始：開始時刻30分前～)

参加費用

一般価格：20,000円（税込22,000円）/一名様

会員価格：16,000円（税込17,600円）/一名様

申込期限

・銀行振込：開催日6日前まで

・クレジットカード：開催日4日前まで

※祝日や連休により変動する場合もございます。

会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン（旧：FUNAIメンバーズPlus）へご入会中のお客様のお申込みに適用となります

お申込みはQRコードの読み取りが簡単です！

■お申込みに関してのよくあるご質問は、「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください

お申込み <https://www.funaisoken.co.jp/seminar/127545>

TEL：0120-964-000(平日：9:30～17:30)

お問い合わせNo S127545

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。
また、お問い合わせの際は「お問い合わせNo.とセミナータイトル」をお伝えください

船井総研セミナー事務局 E-mail：seminar271@funaisoken.co.jp

